

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書9月分

新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【君らしく働くミライへ（QuizKnock の課外授業シリーズ 03）】

QuizKnock／著 朝日新聞出版

社会の多様化、テクノロジーの急発展、コロナ禍……。

世の中についての情報や価値観が目まぐるしく変化する時代に、未来の職業や働き方を考え、語るのは難しい。でも、そんな時代だからこそ、進みたい道や未来の可能性を「思考し続けること」が大切！ 思考するためのヒントを詰め込んだ1冊。

【やらかした時にどうするか（ちくまプリマー新書）】 畑村洋太郎／著 筑摩書房

どんなに注意しても、どれほどたくさん知識を備えても、失敗を完全に防ぐことはできない。「なぜ失敗したのか」の分析や、それを糧にする方法を身に付けて、失敗を怖れることなく果敢にチャレンジできるようになろう！

【タガヤセ！日本「農林水産省の白石さん」が農業の魅力教えます（14歳の世渡り術）】 白石優生／著 河出書房新社

A5ランクはおいしさの基準じゃない！？ 農林水産省現役官僚で YouTuber の著者が、ドローンや無人トラクターも活躍する最新のスマート農業から品種改良の秘密まで、日本の農業の魅力を伝える1冊。

【「みんな違ってみんないい」のか？ - 相対主義と普遍主義の問題（ちくまプリマー新書）】 山口裕之／著 筑摩書房

「正しさは人それぞれ」という主張は事実としても道徳的な態度としても間違っている。「正しさ」とは何か、どのようにして作られていくものかを、さまざまな学問のこれまでの議論を概観したうえで考える。

読みたかった本がある…
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのぞきに來てね。